

S部門

(肢体不自由教育部門)

分類外の様々な教材

教材ガイド



鹿本学園キャラクター
シカちゃん モトちゃん

平成27年度 第2回作成

東京都立鹿本学園

目次

- 「iPad でオリジナル教材をつくろう」
- アニマル空気砲
- そめものをしよう
- ひもつき野菜ボックス
- 芋掘りして焼き芋をしよう！
- 音・立て器
- 我が国の三権分立
- 教科書の説明をわかりやすく
- 砂糖ってどうやって溶けていくの？
- 食べる意欲を引き出す第2弾
- 針を忘れない
- 廃材でステンドグラス
- 飛ぶバルサ飛行機
- 有名人を人形で表現する

iPadでオリジナル教材を作ろう ～Finger Boardの活用～

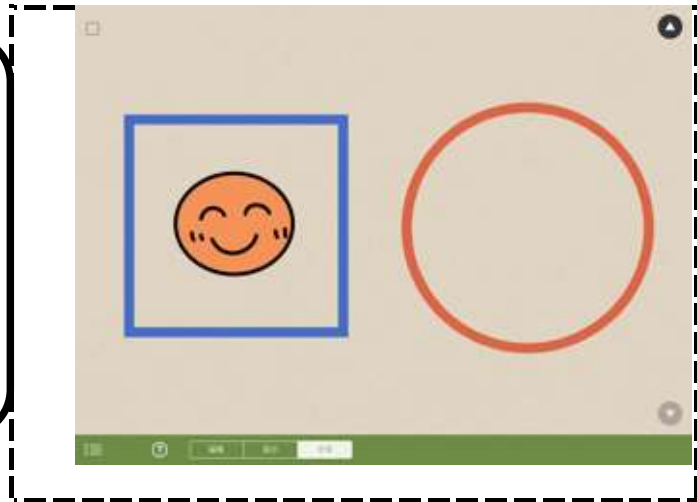
対象児童・生徒

教材の製作の工夫によって、すべての教育課程で使用できます。肢体不自由だけではなく、知的障害の児童・生徒にも使用できます。

S

学習グループ

教育課程



ねらい

- ・児童・生徒の学習を支援するための適切な教材を作成する。
- ・iPadをより有効に活用する。

児童・生徒の個別指導に活用できます。ページはプレゼンテーションソフトのようにコピーも可能なので改造してバリエーションを増やすこともできます。タッチすると笑顔と音を出すなどのアクションをつけることもできます。

教材の使い方 (指導方法)

準ずる教育課程用の課題も作成することができます。また、ファイルは外部へ書き出すこともできます。AirDropやメールで他のiPadでも活用が簡単にでき、今後は校内だけではなく、学校間でも教材の共有ができるのではないかと期待されています。今後も全国研に向けて、このアプリの活用について研究を進めていく予定です。



アニマル空気砲 ～見えないものを感じよう～

対象児童・生徒

・五感を刺激することや具体物を通した楽手の方が理解が進む生徒に適した教材です。

S 高1 1年A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

・目に見えない”風”や”におい”を感じる。
・箱の中を注意して見る。

・箱の底に大きめの開閉可能な穴をあけることで、口からは入らない教材も入れることができるようにした。
・アロマディフューザーを入れたり、ろうそくを入れたり様々なものを入れることができる。
・大はより強い風や大きな音が出るので、周りの生徒も楽しめる。小は持ち運びもしやすい。

教材の使い方 (指導方法)

・「3・2・1…」の掛け声の後に、大きな音をたてて箱をたたき、中の空気を押し出します。刺激が好きな生徒は「3・2・1…」の掛け声で期待感いっぱい待つことができ、大きな音や風が苦手な生徒もその意思表示をするなど生徒の反応が大きかった。

・中に入れる物や一緒に使うものを工夫することで楽しめます。

Ex) 煙を入れて押し出された空気を見たり、的当てゲームなどの遊び



そめものをしよう ～みんなでぺったん、ステンシル染め～

対象児童・生徒

- ・生徒一人一人の手の大きさに合わせて作成した教具を使って、とんとん、ステンシル染めを行う。
- ・視覚支援として、丸や葉の形を切り抜いた黒いシートを布の上に敷いて、その上から染め

S 中2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



完成品

ねらい

- ・秋の色を使ってそめものを作り、秋を感じる。

- ・事前に生徒の手の大きさや、得意な力（引く力、押す力など）を考慮し、教具を作成した。

- ・視覚支援として作品のコントラストが強くなるように意識して染色液を用意した。視線などを使って、生徒自身に使用する色の選択を行っている。

教材の使い方 (指導方法)

- ・絵具のように簡単に使える染色液を使用して、ステンシル染めを行う。
- ①染める教具を手を持つ。
(接触面には海面を使用。持ち手は作業しやすいよう、黒で統一している。)
- ②海面に染色液を付ける。
(事前に水等で湿らしておくと、まろやかな色味になる。)
- ③段ボールに新聞紙を敷いた板状の台を人数分用意し、布を固定する。
- ④布の上に、丸や葉の形を切り抜いたA4の黒いシートを載せる。
(今回は、ラミネートを施した薄手の黒画用紙)
- ⑤「とん、とん、とん」の掛け声に合わせて、空いている模様めがけて、色を載せる。
(1つの形を染めるのには、3回色を載せるのが適量)
- ⑥全部染めたら乾燥させ、仕上げにアイロンをかけて模様を固定する。
- ⑦完成

ひも付き野菜ボックス

対象児童・生徒

つかむ・つまむ力
注視をする力
選び取る力
空間認知の力
投げ出さず保持する力
をつけることを目標としている
生徒

S 高1 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ①箱から出した野菜を投げ出さずに、穴の中に入ることができるようになる。
- ②指示した野菜や果物を弁別し、選択して穴に入れることができるようになる。

ゴムひも付きなので、仮に放り投げてもすぐに戻ってきます。



教材の使い方 (指導方法)

- ①座位保持椅子の前に机を置き、箱をおく。
- ②箱の中からゴムひも付きの野菜おもちゃを穴から数種類出す。
- ③最初は出した野菜を全て、投げ出さずに（投げてでもひも付きなので戻ってくる）すべて箱にしまうことを目的にする
- ④全てしまうことが出来たら、指示した野菜を選択して入れることに挑戦する。

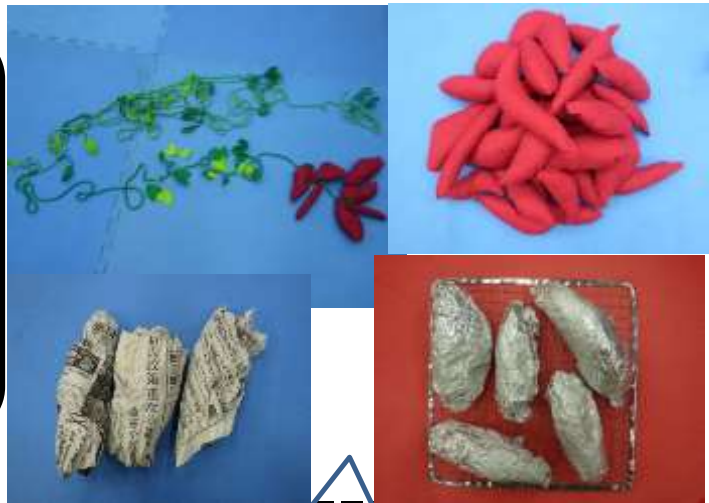
かたち、大きさもまちまちな野菜を、穴の中にしっかりと入れられるようにします。

芋掘りして焼き芋をしよう！ ～スナップボタンでかんたん収穫！～

対象児童・生徒

- ・手の力が弱い児童・生徒
- ・物を握ることが難しい児童・生徒

S 中1 A学習グループ
重度・重複学級



ねらい

- ・本番に向け、主体的に芋掘りの事前学習に取り組めるようにする。

- ・布の中に綿を入れることで芋の感触が柔らかく児童・生徒も抵抗がなくて触りやすい。
- ・好きな大きさ、形など選ぶことができるようにした。
- ・スナップボタンなので少しの力で取り外しが簡単にできるようにした。

教材の使い方 (指導方法)

- 1、つるだけを残し、芋は布にかぶせておき芋掘りをする。
- 2、掘った芋をスナップボタンからとる。
- 3、新聞紙にくるむ。
- 4、アルミホイルにくるむ。
- 5、網の上で焼く。

楽しく会話を交わしながら芋掘りからの焼き芋ごっこを楽しみましょう！

音・立て器 ～音の料理人～

対象児童・生徒

- ・自分で持つことができる生徒
- ・教員と一緒に持つことができる生徒

S 高2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・音を出してリズムを感じる。
- ・合奏の中で人とのかわりを意識する。
- ・音で自分の気持ちを表現する。

- ・調理用具の泡立て器を使用する。
- ・生徒の手に合わせて握りの部分を工夫する。（ゴム製のグリップなどを付ける）
- ・鈴の入ってる部分がシリコンコーティングされ柔らかいので、振るだけではなく天板や自分の身体に当てても安全に音を出すことができる。

教材の使い方 (指導方法)

朝の会「おはよう」

- 1、演奏が始まることを伝える。
- 2、ギターのエントロを聴く。
- 3、手に持っている音立て器を振り音を出す。
- 4、ギターの音が止んでもリズムを感じたまま音を出す。
- 5、歌に合わせて音を出す。
- 6、曲の終わりを意識して音を止める。

我が国の三権分立 ～動かしてしくみを覚えよう～

対象児童・生徒

日本の政治機構について理解を深める必要がある生徒

S 高3 学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

司法・立法・行政の役割を国民を中心にして理解する。

・生徒が自分で動かせるよう、大きめの画用紙に作成した。
・ホワイトボードに提示できるように裏に磁石を付けた。

教材の使い方
(指導方法)

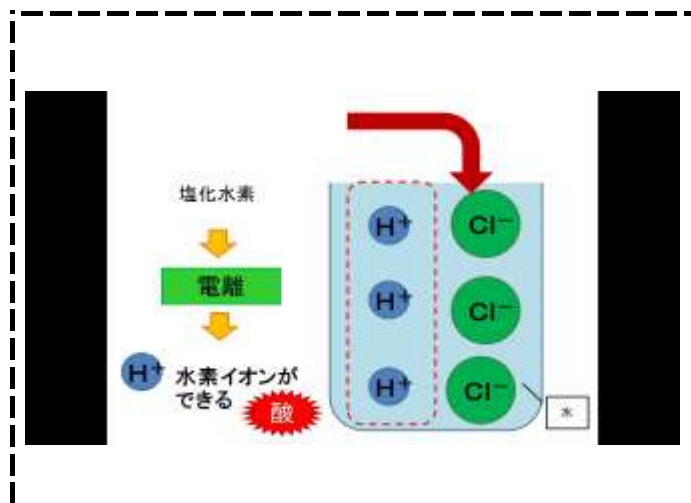
・3つの政治機構を順番に紹介し、その機関のもつ権利を説明し、生徒に並べてもらう。
・空欄になっている箇所に実際に生徒が貼るようになる。

教科書の説明をわかりやすく ～現象をイメージできるように～

対象児童・生徒

高等部で「化学基礎」を履修している生徒が対象です。

S 高1 学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

酸と塩基の定義を視覚的に表現し、イメージをもちやすくする

【必要なもの】

- ・プレゼンテーションソフト
- ・大型モニター

【工夫したところ】

タッチパネル対応のモニターを使うことで、モニターの画面を操作しながら、説明ができるようにした。

教材の使い方 (指導方法)

一斉授業で「酸と塩基の定義」を教員が説明する際に、使用する。プレゼンテーションソフトのアニメーション機能を使い、電離して「水素イオン」や「水酸化物イオン」が生じる様子や「水素イオン」が反応の前後で移動する様子をモデルで表し、目で見えるようにした。

【画面の様子】

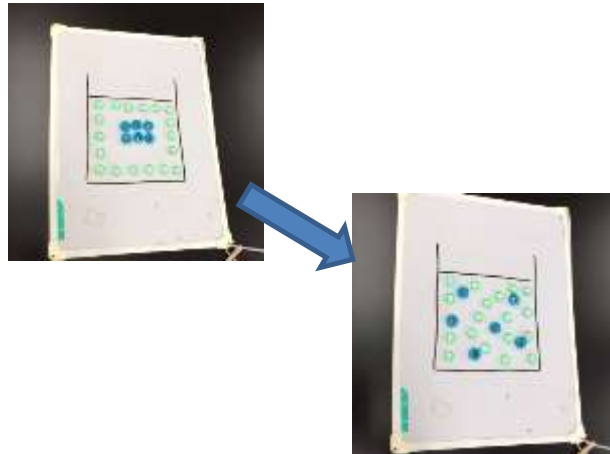


砂糖ってどうやって溶けていくの？ ～粒子をモデル図で表してみよう～

対象児童・生徒

- ・すべての物質は身に見えない小さな粒子でできていることがわかる生徒。
- ・水溶液の性質がわかっている生徒。

S 中1 学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

- ・砂糖が水に溶けていく様子を粒子ボードで表す。
- ・目に見えない粒子の動きを表現する。

・A3サイズのホワイトボードにビーカーの形を直接書くことで、磁石を動かしても下の線が消えません。
・水と砂糖では粒子の大きさが異なるので、砂糖のほうが大きいものを用意した。また、マグネットの数は水の方が砂糖より多くなるようにした。

例：水…16個、砂糖…6個

教材の使い方 (指導方法)

- ①A3のホワイトボードと、2色の磁石を用意する。
この時磁石の大きさも変えるとよい。
- ②角砂糖をタコ糸で縛り、割針をつけ、水の入ったビーカーに角砂糖をつるす。
- ③ホワイトボードの中心にビーカーの図を書く。
- ④③の状態を磁石で表現する。
- ⑤砂糖が解けていく様子を観察する。
- ⑥⑤の状態を磁石で表現する。この際磁石の数は変わらないことを伝える。

食べる意欲を引き出す第2弾

～食べているものや種類がよく見える～

対象児童・生徒

・特に口唇介助を必要とする生徒が対象で、自分の食べている給食が見えづらい生徒に対して使用しています。

S 中3 A①学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

自分の食べているものを確認して食べたい意欲を引き出したり、主菜、副菜、デザートなど食べたいものを理解したり、選択しやすくすることがねらいです。

・角度を生徒に見えやすいようにした。
・色を付けることで主菜・副菜・デザートなどわかりやすくなった。
・介助側もスプーンですくいやすく、より指導しやすくなった。

教材の使い方 (指導方法)

・給食のお盆の上にセットして、ひよこ皿や水分を載せる。
・生徒に給食のメニューが良く見える位置にセットする。
・毎回、主菜・副菜・デザートなどの種類を同じ色に乗せ、一緒にひよこ皿等に盛り付けられている給食を見ながら見通しをもって食べられるよう指導にあたる。



針をわすれない！

対象児童・生徒

・被服実習をする全ての生徒が対象です。

S

B・C学習グループ

教育課程



ねらい

点の数を合わせて針を刺すことで、忘れたりなくしたりすることを防ぐために制作しました。針1本でも危険を伴うことを忘れないでほしいと思います。

番号と点を合わせるだけで、数の確認がすばやくできます。

教材の使い方 (指導方法)

実習前の針刺しの状況と実習後の針刺しの状況に変化はないかを、各生徒で確認できます。数を数えられなくても、点の位置に刺さっていることで、針をわすれることはありません。



このようなことがないようにします！

生徒たちとつくった協同教材

～廃材でステンドグラス飾り！～

対象児童・生徒

集団音楽授業において
自立活動を主とする教育課程



ねらい

- ・廃材を使って季節の飾りを作成する。
- ・協働制作作品を、授業で観る・きく教材として活用する。

大きな作品になったが、持ち運びやすいように展示しやすいように、また生徒に提示しやすいように、一番上にS字フックを付け、可動性を工夫した。鈴もつけることによって、きく教材としての要素も持たせた。

教材の使い方 (指導方法)

- ①ヨーグルトのふたを大量に収集する。
 - ②生徒一人一人が、教職員の必要な支援で、ふたに油性ペンで、絵や模様を描く。
 - ③各ふたをピラミッド状に並べ、グルーガンで接着する。
 - ④底辺のふた一つ一つに鈴をつける。
- ～ここがポイント！～
- ・廃材を有効活用！
 - ・生徒一人一人の作品が協働制作作品になり、観る・きく教材に大変身！
 - ・大きな作品になり、どの生徒も、視覚的にも聴覚的にも捉えやすいものになる。

材料と加工

～バルサ材で飛行機を作ろう～

対象児童・生徒

・準ずる課程の、技術の授業の制作品として準備した。

中2 C学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

・正確に寸法を測り、安全に工具を使い、丁寧な工作で、美しい機体に仕上げ、バランスを考えて、よく飛ぶ飛行機を作る。

・材料から、具体物を作る過程を経験するために、材料、工具、図、等を学習してから制作に取り掛かるようにする。・作るものを具体的に示すために、完成品を作っておき、イメージを持たせる。

教材の使い方 (指導方法)

- ①技術で学習した内容が活かせるように、興味を持ちやすい具体物を作ることを説明する。
- ②具体物を示す。
(材料、工具、図等)
- ③工具の安全な使用について学習する。
- ④図面を基に、材料に部品取り線をかき入れる。
(今回は、バルサ材を使用)
- ⑤線に沿って刃物で部品を切り抜く。
(安全な使い方を指導する)
- ⑥組み立てる。
- ⑦美しく仕上がるように切り口を磨いたり、角度を調整したりして全体を整える。
完成

課題理解を深める為に ～美術「有名人を人形で表現する」～

対象児童・生徒

高等部B学習グループ
の生徒が対象です。

S 高1 B学習グループ

知的障害を併せ有する生徒の教育課程

ゆうめいじん
有名名人を
にんぎょう ひょうげん
人形で表現しよう

モーツァルト

有名な音楽家である！

解説
モーツァルト

ねらい

写真やイラストで紹介されている有名人が人形でどのように表現されているかを紹介して、制作ポイントをイメージしやすくした。

モーツァルト、クリムト、シェークスピア3名の有名人が、人形でどのように表現されているかをパワーポイントで紹介した。人形になった有名人は、「こんな特徴を捉えて表現されているよ」といくつかのポイントに注目できるように工夫した。パワーポイントでの説明後に、プリントを使って「有名人とはどんな人か?」「制作したい有名人を考えてみよう」等、制作の手順も合わせて学習を進めた。

教材の使い方
(指導方法)

パワーポイントを見ながらの学習。それぞれの理解度を表情から読み取りながら進行する。

実際にパワーポイントに登場した人形を手にとって観る。

プリントで制作工程を説明するとともに、自分たちが誰をどのように制作したいのか、イメージできるように設問に答えてもらいながら進行する。